

ご購入ありがとうございます。ご使用前に本取扱説明書をよくお読みいただき、正しくお取り扱い下さいますようお願い申し上げます。本取扱説明書はお手元に保管して下さい。

## 製品仕様 (改良のため予告なく変更する場合があります。)

- 時間精度: 平均月差 ±30 秒以内 (気温 25℃ で使用した場合)  
(電波時計による時刻修正を行わない場合)
- 表示精度: ±1 秒以内 (電波受信による時刻修正の直後)
- 使用温度範囲: 0 ~ +40℃ ※結露なきこと (外観 / 機能に支障無く、連続使用可能な温度範囲)
- 使用推奨電池: 単3形アルカリ乾電池 (LR6 1.5V) 2個
- 電池寿命: 約 12 ヶ月  
(単3形アルカリ乾電池 2個を使用し、1日にアラームを 30 秒使用した場合)
- 電波受信: 40kHz/60kHz のどちらか受信しやすい電波を受信し、現在時刻に合わせる  
●自動受信 (最多 3 回 / 1 日) ●手動受信
- 時刻表示: 12 時間制表示、または 24 時間制表示
- カレンダー表示: 2000 年 1 月 1 日 ~ 2099 年 12 月 31 日 (フルオート)
- 温度計: 表示範囲 -9.9 ~ +50.0℃ ※-9.9℃ より低いと LLL、+50.0℃ より高いと HH.H を表示  
精度 ±1.5℃ (0 ~ +50.0℃ の範囲)
- 湿度計: 表示範囲 20 ~ 99%RH ※20% より低いと LL、99%RH より高いと HH を表示  
精度 ±7% (常温時、20 ~ 99%RH の範囲)
- アラーム: 電子音 (1 分間オートストップ)
- 電波受信状況表示
- 環境目安表示: 快適 / インフルエンザ / 熱中症 / 乾燥
- 警報ブザー: 電子音 (インフルエンザ、または熱中症表示のとき)

●印刷による制限のため本取扱説明書中の図が実際の表示と異なる場合があります。●本製品によって生じたいかなる支出・損益・その他の損失に対して何ら責任を負いません。●本取扱説明書を製造者の許可なく変更・複製することを禁じます。

## 本体のご注意

### 警告 死亡または重傷などを負う可能性が想定される内容

- 誤飲を防止するため、小さな部品や電池は、乳幼児の手の届く所に置かない  
万一、飲み込んだ場合は、すぐに医師の治療を受ける。

- 分解や改造をしない  
ケガや故障、火災や感電の原因になる。
- 故障や破損した状態で使わない  
ケガや火災、感電などの原因になる。
- ぬれた手でさわらない  
さびや故障、感電の原因になる。
- 浴室やサウナ、温室など、高温・高温になるところでは使わない  
さびや故障、感電の原因になる。
- 本体内部に水分や異物を入れない
- 火の中に捨てたり加熱しない
- 梱包用袋は絶対に被らない

### 注意 障害を負うまたは物的損害が発生する可能性が想定される内容



禁止

- 下記のような場所では使わない  
精度の低下、部材の変形、変色、劣化、故障の原因になる。
  - ◆直射日光が当たる所
  - ◆火気のそば
  - ◆暖房機器の風が当たる所
  - ◆温度が +40℃ 以上の所、または -10℃ 以下の所
  - ◆寒暖差が大きい所
  - ◆ほこりが多く発生する所
  - ◆強い磁気を発生させる機器のそば
  - ◆車中や船舶、工事現場など、振動の激しい所
  - ◆プール、温泉場などガスの発生する所
  - ◆調理場など多くの油を使用する所
  - ◆色移りや付着、変質の可能性があるため、ゴムや軟質のポリ塩化ビニルに、長い間、直接ふれさせておかない。
- 強い振動や衝撃を与えない  
故障や破損の原因になる。

## 電池のご注意

### 危険 死亡または重傷などを負う可能性が想定される内容

- 誤飲を防止するため、小さな部品や電池は、乳幼児の手の届く所に置かない  
飲み込んだ場合、あるいは飲み込んだ恐れのある場合は、直ちに医師に連絡して指示を受ける。

### 警告 死亡または重傷などを負う可能性が想定される内容

- 電池からの液漏れや発熱、破裂を防止するために、次のことを守る。
  - ◆電池に傷をつけない。
  - ◆電池をショートさせない。
  - ◆電池を充電しない。
  - ◆電池を加熱しない。
  - ◆電池を火の中に入れない。
  - ◆電池に直接ハンダ付けをしない。
  - ◆⊕と⊖を逆に入れない。
- 電池の液漏れが起きたときは、素手でさわらない。  
衣服に付着した場合は、すぐに水で洗い流す。  
アルカリ乾電池の場合、失明や炎症などの障害が発生する可能性が高い。  
電池を外して漏れた液を布や紙でよくふき取る。  
修理が必要な場合は、お買い上げの販売店または弊社サービスセンターにご相談下さい。

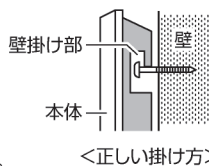
### 注意 障害を負うまたは物的損害が発生する可能性が想定される内容

- 電池の⊕⊖を正しく入れる  
正しく入れなかった場合、液漏れや発熱の原因となり、ケガや故障の原因になる。

## 時計の掛け方について

### 注意 掛け方が不適切な場合、落下する危険があります。

- 掛け具に時計を掛けた際に、時計本体を上下・左右・前後に軽く動かして、確実に掛かっていることを確認して下さい。
- 時計は垂直・水平に掛けて下さい。
- ドアを開閉するときの振動が伝わらない所に掛けて下さい。
- 落下の原因になりますので、壁掛け部以外には掛けないで下さい。
- 壁の裏側に電気配線等がある場所に取り付けると掛け具で電気配線等を傷つけ、火災・感電につながる恐れがあります。事前に電気配線等の位置を確認し、取り付けて下さい。
- 壁の材質・構造を確認の上、この時計の重さに充分耐えられる掛け具を選んで下さい。  
※材質・構造が不明の場合は、建築メーカー等へ相談して下さい。  
※本製品に掛け具は付属していません。



## お手入れについて

- プラスチック部品、ガラスをふくときは、水で薄めた中性洗剤を少量含ませた柔らかい布でふいた後に、カラぶきして下さい。木製部品、金属部品は柔らかい布でカラぶきして下さい。
- ベンジン、アルコール、ミガキ粉、ブラシは使用しないで下さい。変色、変形、傷の恐れがあります。  
※お客様が分解しますと、修正不可能になる場合やケガの恐れがあり大変危険です。また保証の対象外となります。

## 電池について

- 電池のご使用上のポイント
  - ◆⊕と⊖を間違えない。
  - ◆時計が動いていても定期的に交換する。
  - ◆長期間使用しないときは機器から電池を取り外す。
  - ◆時計が止まったらすぐに電池を取り外す。
  - ◆電池に表示されている使用推奨期間内に使う。
- 電池の種類について  
推奨以外の電池では製品仕様を満たさない場合や正常に機能しないことがあります。一部の高性能電池は、初期電圧が高く時計には不向きなものがあります。アルカリ乾電池とマンガン乾電池はどちらも使用可能ですが、一般にアルカリ乾電池の方が長持ちします。アルカリ乾電池とマンガン乾電池は併用しないで下さい。充電式電池・リチウム乾電池には対応していません。機械に不具合が起きる可能性がありますので、使用しないで下さい。

## 電池の交換について

### 注意 電池からの液漏れにより、時計の修理や壁面の修繕などに費用が発生することがあります。電池からの液漏れや発熱、破裂を防止するために、次のことをお守り下さい。

- 時計が停止したときは、速やかに新しい電池に交換するか、電池を取り外す。
- 時計が動いていても、製品仕様欄に記載の電池寿命を目安に、定期的に交換する。  
※電池着脱の際は、ケガをしないように注意して下さい。

## 電池・時計の廃棄について

- 廃棄の際は、お住いの地区自治体の指定に従って下さい。
- 電池を廃棄、または保存する場合は、テープなどで絶縁する。  
(他の金属や電池と接触して発火・破裂の恐れがあるため)

## 温度湿度表示機能について

- 本製品は工業用(業務用)計測機器として使用する目的で製造されたものではありません。温度湿度表示機能は、センサーが本体内部に設置されているため、表示が安定するまでに時間がかかる場合があります。
- 他の製品、温度計・湿度計との誤差が発生する場合があります。
- 使用温度範囲を超えた場合、故障の原因となりますので、ご注意下さい。

## 液晶表示について

- 液晶表示は角度により見えにくくなります。
- 温度が低くなると液晶表示の反応が遅くなる場合があります。
- 0 ~ +40℃ の温度範囲を超えると、液晶表示が見えにくくなる場合があります。
- 液晶表示板は5年を過ぎるとコントラストが低下して、表示が見えにくくなる場合があります。
- 液晶表示が部分的に黒くなる場合がありますが、静電気による一時的な現象です。  
しばらくそのままにしておくと、元に戻ります。

## お問い合わせ先

### ノア精密株式会社 サービスセンター

〒340-0002 埼玉県草加市青柳 6-46-1

TEL:048-933-4080

受付時間:月曜日～金曜日(土・日曜日、祝日、年末年始を除く)

10:00～12:00、13:00～17:00

※住所、電話番号、受付時間などは、都合により変更される場合があります。

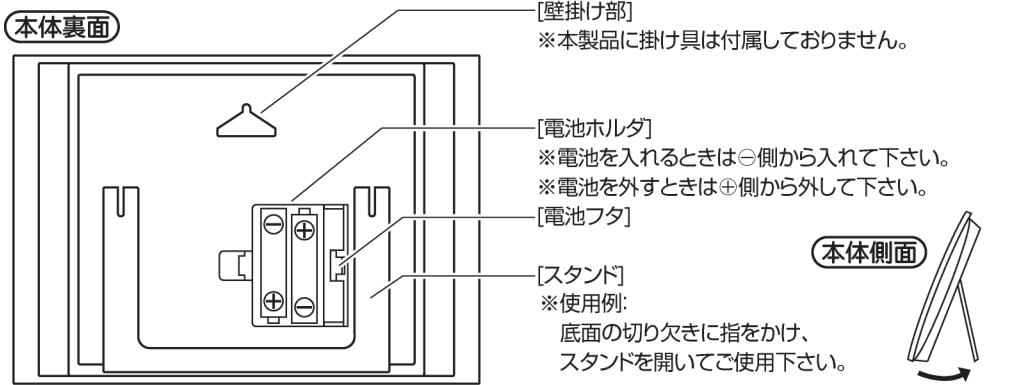
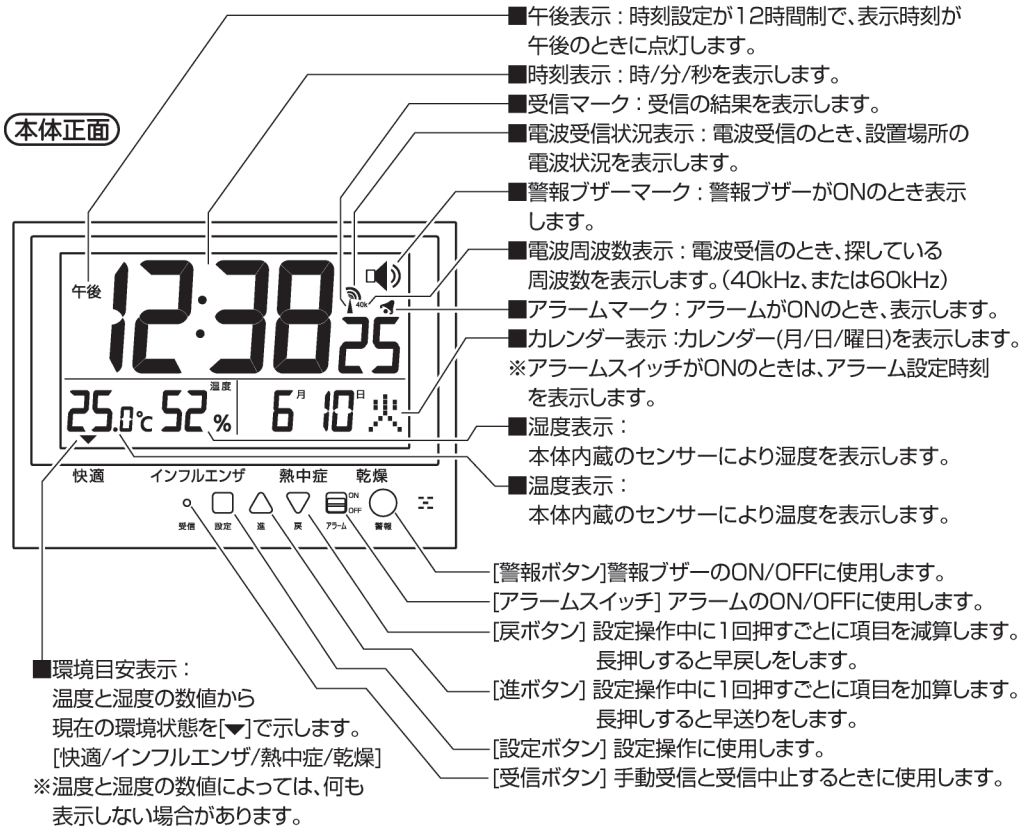
※お問い合わせの際には、型番をお伝え下さい。

※通信にかかる費用はお客様のご負担となります。あらかじめご了承下さい。

<https://www.mag-clock.co.jp>







ご使用方法

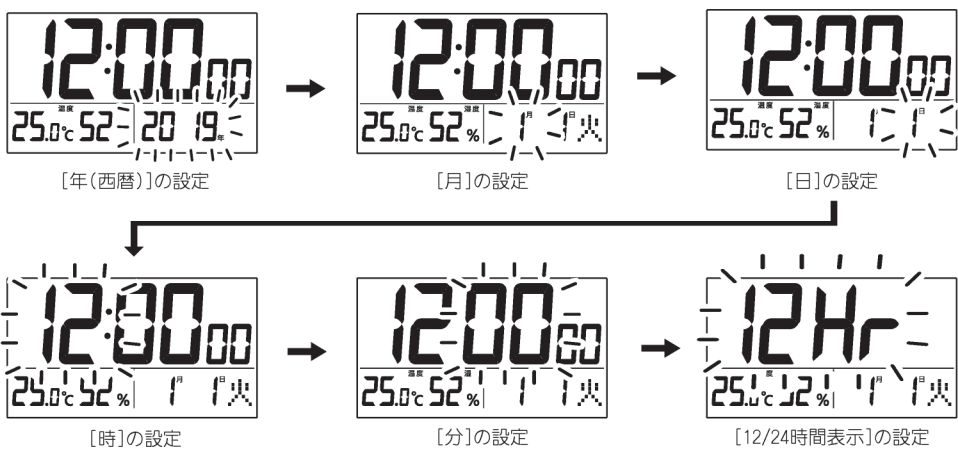
- 表示ラベルを剥がす。  
※ラベルを剥がす際に、液晶表示が部分的に黒くなる場合がありますが、静電気による一時的な現象です。しばらくそのままにしておくと、元に戻ります。
- 電池フタを開けて単3形乾電池2個を⊕⊖の表示に合わせて入れ、電池フタを閉める。  
→「ピピッ」と確認音が鳴った後、電波の受信を開始します。  
※受信中は受信マークが点滅します。  
※受信には最長14分かかります。
- 受信の結果を確認する。本書「受信の状態について」を参照。  
●受信に成功すると、受信マークが点灯して自動的に時刻と日付を修正して表示します。  
●受信に失敗すると、受信マークは消灯します。時刻・日付は修正されません。

電波受信ができなかった場合は...

- 朝までそのままにしておく  
一般的に、夜間は電波状態が良くなるので、一晩そのままにしておくと、受信できる可能性が高くなります。
- 設置場所を変える/受信をやり直す  
本書「電波時計について」の「電波を受信しにくい環境」を参考にして設置場所を変え、リセット操作をして再度受信をさせる。
- 手動で時刻を設定する  
電波を受信できない場合は、内蔵クォーツの精度で計時します。本書「手動で時刻を設定する」を参照。

手動で時刻を設定する

- 注意** 設定中の点滅は約60秒以内です。この間に操作を何もしないと点滅が終了して、通常表示に戻ります。
- アラームスイッチをOFFにする。
  - 通常時刻表示のときに、設定ボタンを2秒以上押し続ける。→時刻設定モードに入り、[年(西暦)]部分が点滅します。
  - ▲ボタン、▼ボタンを押して[年(西暦)]を設定する。
  - 設定ボタンを押すごとに[年(西暦)]→[月]→[日]→[時]→[分]→[12/24時間表示]が点滅するので、▲ボタン、▼ボタンを押してそれぞれを設定する。  
※[秒]は、▲ボタン、▼ボタンを押すごとに00秒に設定されます。
  - [12/24時間表示]の設定が終了したら、設定ボタンを押す。  
→点滅が終了し、設定された時刻と日付が表示されて、時刻・日付設定が完了します。



※[年・月・日]を合わせないと[曜日]は正しく表示されません。

電波時計について

電波時計とは

標準電波を受信して自動で時刻を修正する機能を持つ時計です。  
※電波を受信できない場合は、内蔵クォーツの精度で計時します。

標準電波とは

情報通信研究機構(NICT)が運用している時刻情報のせた電波です。標準電波送信所は、福島県の「福島局:おたかどや山標準電波送信所」と、佐賀県と福岡県の県境にある「九州局:はがね山標準電波送信所」の国内2か所にあります。  
※標準電波の時刻情報は、およそ10万年に1秒の誤差という精度の「セシウム原子時計」によるものです。

標準電波の送信停止について

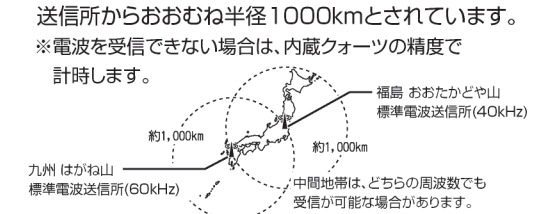
標準電波は毎時15分と45分から各1分間は一部の時刻情報の送信が中断されます。また、送信所の定期点検や落雷などの影響により停波(送信停止)することがあります。標準電波の送信状態については「情報通信研究機構」のホームページをご覧ください。

日本国外でのご使用について

本製品は、日本の標準電波以外は受信できません。海外で使用した場合、ご使用になる場所の条件により日本の標準電波を受信したり、ノイズにより誤った日時を表示する場合があります。あらかじめご了承下さい。

標準電波についての詳しい情報は「情報通信研究機構」のホームページ内の「日本標準時グループ」を参照して下さい。  
情報通信研究機構 ホームページアドレス <https://jjy.nict.go.jp>

電波の受信範囲について

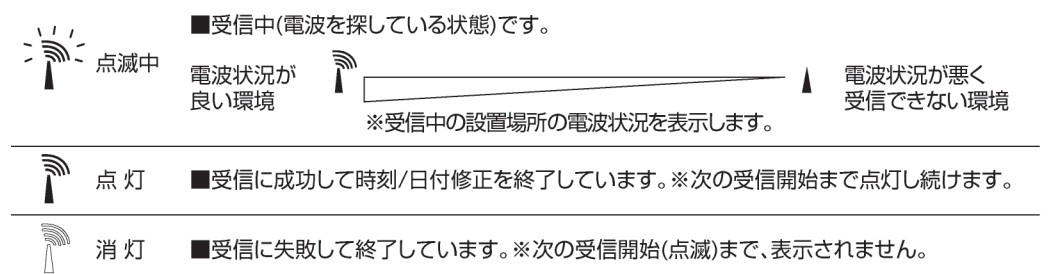


電波を受信しにくい環境

次のような場所では受信できない場合や誤った時刻を表示することがあります。

- 工事現場、空港の近く、交通量の多い場所など電波障害の起きやすいところ
  - ビルの中、ビルの谷間、山など電波を遮るものの近く
  - 鉄筋、鉄骨の建物の中や地下
  - 金属製の雨戸やブラインドの近く
  - 高圧送電線、ラジオやテレビの送信所の近く
  - 自動車、電車、飛行機などの中
  - 家電製品やOA機器、蛍光灯などの照明器具の近く
  - スチール机などの金属製家具の上や近く
  - 朝・夕の時間帯や雨天のとき
- ※電波障害などにより誤った電波を受信し、時刻を誤表示する場合は、リセット操作をして使用する場所を変更してご使用下さい。

受信の状態について



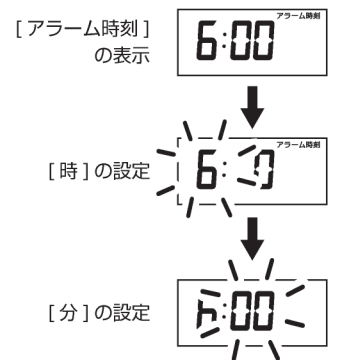
自動電波受信機能について

本製品は、時刻を修正するために、毎日、内蔵プログラムにより自動電波受信を行います。電波を受信できない場合、内蔵クォーツの精度で計時し、次の自動受信時間に再び電波受信を行います。

アラーム時刻の設定

**注意** 設定中の点滅は約60秒以内です。この間に操作を何もしないと点滅が終了して、通常表示に戻ります。

- アラームスイッチをONにする。  
→カレンダー表示がアラーム時刻に切替わります。
- 設定ボタンを2秒以上押し続ける。  
→アラーム時刻設定モードに入り、[時]が点滅します。
- ▲ボタン、▼ボタンを押して[時]を設定する。
- [時]の設定が終了したら、設定ボタンを押す。  
→[分]部分が点滅します。
- ▲ボタン、▼ボタンを押して[分]を設定する。
- [分]の設定が終了したら、設定ボタンを押す。  
→アラーム時刻が表示されて、設定が完了します。  
※アラーム時刻は[秒単位]の設定はできません。  
※12時間制表示のとき、[午前]と[午後]を間違えないように注意して下さい。



アラーム機能の使い方

- アラームを鳴らす  
アラームスイッチをONの位置にする。  
→アラームマークが点灯し、設定した時刻になると、アラームが鳴ります。
- アラームは鳴り始めから約1分後に自動的に鳴り止まり、翌日の設定した時刻になるまで鳴りません。(オートストップ機能)  
※アラームマークは点灯したままです。
- アラームを止める  
アラームスイッチをOFFの位置にする。  
→アラームマークが消灯し、アラーム機能が解除されます。

環境目安表示について

温度と湿度の数値から、現在の環境状態を表示します。[快適/インフルエンザ/熱中症/乾燥]  
※温度と湿度の数値によっては、何も表示しない場合があります。  
※環境目安表示は、あくまで空調や体調管理の目安です。表示により発生の有無を断定するものではありません。  
※公的機関から発表される「注意」「警報」などとは一致しない場合があります。  
※本製品はインフルエンザ・熱中症を完全に防止できる製品ではありません。  
※本製品は、商取引や証明には使用できません。また、医療及び業務用製品ではありません。

警報ブザーについて

通常時刻表示のときに警報ボタンを押すと、警報ブザーマークが点灯します。  
→「インフルエンザ注意」、または「熱中症注意」が点灯すると、警報音が約10秒間鳴ります。  
警報音が鳴ってから10分間、該当の環境目安表示が点灯し続けた場合、再度警報音が約10秒間鳴ります。  
※「快適」、または「乾燥」が点灯した場合は、警報音は鳴りません。  
※警報ブザーを鳴らさない場合は警報ボタンを押して、警報ブザーマークを消灯して下さい。

電池の交換について

電池容量が少なくなると、液晶表示が薄くなったり、歪んだり、アラーム音が小さくなったりします。このような場合は速やかに同じ種類の新しい電池に2個同時に交換して下さい。  
※買い置きを電池を使用した場合、乾電池に示されている「使用推奨期限」や保管状態により電池寿命が短くなることがあります。

リセット操作について

電池を電池ホルダから外した直後は、静電気や内部に残っている電流により、誤動作(誤表示)する場合があります。電池を入れる前に、液晶表示に何も表示されていないことを確認してから新しい電池を入れて下さい。